

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3147879号
(U3147879)

(45) 発行日 平成21年1月22日(2009.1.22)

(24) 登録日 平成20年12月24日(2008.12.24)

(51) Int.Cl.

A 4 5 D 31/00 (2006.01)

F 1

A 4 5 D 31/00

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2008-7783 (U2008-7783)
(22) 出願日 平成20年11月6日(2008.11.6)(73) 実用新案権者 507115056
株式会社正和
鹿児島県鹿児島市西千石町17-28
(74) 代理人 100111202
弁理士 北村 周彦
(72) 考案者 小林 正彦
鹿児島県鹿児島市小松原1丁目69番15号

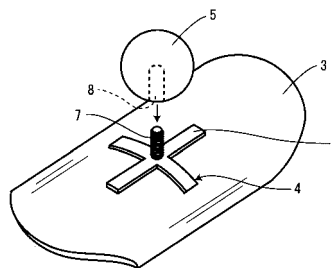
(54) 【考案の名称】 付け爪

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】爪上に取り付けられるチップ上に装飾をほどこすことで、状況に応じて容易に装飾を変更することができる付け爪を提供する。

【解決手段】付け爪は、手足の指の爪上に固定され、螺刻された軸部7が突設された台座4と、台座4の軸部7に螺着可能な螺子孔8が形成された装飾体5とを備えており、装飾体5は台座4に着脱可能に設けられていることを特徴とし、また、手足の指の爪に取り付けられるチップ3と、チップ3上に固定され、螺刻された軸部7が突設された台座4と、台座4の軸部7に螺着可能な螺子孔8が形成された装飾体5とを備えており、装飾体5は台座4に着脱可能に設ける。

【選択図】図2



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

手足の指の爪上に固定され、螺刻された軸部が突設された台座と、
該台座の軸部に螺着可能な螺子孔が形成された装飾体と、
を備えており、該装飾体は前記台座に着脱可能に設けられていることを特徴とする付け爪。

【請求項 2】

手足の指の爪に取り付けられるチップと、
該チップ上に固定され、螺刻された軸部が突設された台座と、
該台座の軸部に螺着可能な螺子孔が形成された装飾体と、
を備えており、該装飾体は前記台座に着脱可能に設けられていることを特徴とする付け爪。

10

【請求項 3】

前記台座部には固定剤を盛るための固定部が形成されている請求項 1 又は 2 に記載の付け爪。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、手足の指の爪上又は該爪に取り付けられるチップ上に取り付けられる付け爪に関する。

20

【背景技術】**【0002】**

近年、特に若い女性の間において、手や足の指の爪を装飾する装身具として、付け爪が広く普及している。

【0003】

この種の従来の付け爪は、指の爪の外形に合うように曲成された合成樹脂製で薄板状のチップの外表面に着色塗料によりペインティングしたり、或いは、前記チップ上に装飾材料を接着したりすることにより構成されており、前記チップは、両面接着テープや接着剤等により爪に取り付けられるようになっている。（例えば、特許文献 1 参照）。

30

【特許文献 1】実用新案登録第 3 1 2 4 1 0 5 号公報**【考案の開示】****【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

しかしながら、上記した従来の付け爪は、合成樹脂製であるため、耐久性に乏しく、一旦爪から剥がすと、変形してしまい、再利用できなくなるおそれがあると共に、使用状況に応じて装飾を変更することが難しいといった問題があった。

【0005】

また、チップ上にペインティングや装飾材料を接着することにより装飾を施しているため、ペインティングが変色したり、装飾材料が脱落したりするおそれがあった。

40

【0006】

さらに、安っぽく見えるため、用途が限定されるといった問題もあった。

【0007】

本考案は、上記した課題を解決すべくなされたものであり、状況に応じて容易に装飾を変更することができると共に、装飾が変色したり、脱落したりすることがなく、耐久性を高め、何度も再利用することができる付け爪を提供することを目的とするものである。

【課題を解決するための手段】**【0008】**

上記した目的を達成するため、本考案に係る付け爪は、手足の指の爪上に固定され、螺刻された軸部が突設された台座と、該台座の軸部に螺着可能な螺子孔が形成された装飾体とを備えており、該装飾体は前記台座に着脱可能に設けられていることを特徴とする。

50

【 0 0 0 9 】

また、本考案に係る付け爪は、手足の指の爪に取り付けられるチップと、該チップ上に固定され、螺刻された軸部が突設された台座と、該台座の軸部に螺着可能な螺子孔が形成された装飾体とを備えており、該装飾体は前記台座に着脱可能に設けられていることを特徴とする。

【 0 0 1 0 】

そして、前記台座部には固定剤を盛るための固定部が形成されているのが好ましい。

【 考案の効果 】

【 0 0 1 1 】

本考案によれば、台座に対して装飾体が着脱可能に設けられているため、使用状況に応じて装飾体を簡単に取り替えることができる。

10

【 考案を実施するための最良の形態 】

【 0 0 1 2 】

以下、図面を参照しつつ、本考案の実施の形態について説明する。ここで、図 1 は本考案の実施の形態に係る付け爪を示す平面図、図 2 は同付け爪を示す斜視図、図 3 は同付け爪を示す断面図である。

【 0 0 1 3 】

本実施の形態に係る付け爪 1 は、手足の指 2 の爪に取り付けられるチップ 3 と、チップ 3 上に固定される台座 4 と、台座 4 に着脱可能に設けられる装飾体 5 とを備えて構成されている。

20

【 0 0 1 4 】

チップ 3 は、例えば貴金属製で薄板状を成し、指 2 の爪の外形に合うように曲成されており、チップ 3 の裏面側に取り付けられた両面接着テープや塗布された接着剤等によって、爪に接着されるようになっている。

【 0 0 1 5 】

台座 4 は、チップ 3 の外形に沿って曲成された十字状の固定部 6 と、固定部 6 の中央に突設された軸部 7 とを備えて構成されており、軸部 7 の外面は螺刻されている。

【 0 0 1 6 】

装飾体 5 は、例えば真珠等の宝石であり、台座 4 の軸部 7 に螺着可能な螺子孔 8 を備えている。なお、装飾体 5 には、真珠の他、各種宝石を使用することが可能であるが、外側から透けて螺子孔 8 が視認できないように、不透明の宝石を使用するのが望ましい。

30

【 0 0 1 7 】

このような構成を備えた付け爪 1 を製造する場合、台座 4 をチップ 3 上の所定位置に配置した状態で、図 3 において二点鎖線で示すように、固定部 6 及び該固定部 6 近傍のチップ 3 上に固定剤 9 を盛るように塗布し、台座 4 をチップ 3 に固定する。なお、固定剤 9 としては、スカルプ又はジェルを使用することができる。

【 0 0 1 8 】

このように上記した実施の形態に係る付け爪 1 によれば、台座 4 に対して装飾体 5 が着脱可能に設けられているため、使用状況に応じて装飾体 5 を簡単に取り替えることができる。また、チップ 3 が貴金属製であるため、爪から剥がしてもチップが変形したり、装飾体 5 が変色したり、或いは脱落したりすることがない。したがって、耐久性を高めることができ、何度も再利用することができる。

40

【 0 0 1 9 】

さらに、装飾体 5 が宝石により構成されているため、高級感を演出し、利用範囲の拡大を図ることができる。さらにまた、チップ 3 を貴金属製とすると共に、装飾体 5 を宝石により構成することにより、デザインのオーダーをすることが可能となり、鑑定機関にて鑑定書または鑑別書の発行ができる程度に、新しく美しい価値あるひとつのアクセサリとして商品化することが可能となる。さらに、製品を溶かしてリフォームすることもでき、何度でも違った形態に再生することができ、古い指輪やネックレスを溶かして付け爪 1 として再生することも可能となる。また、装飾体 5 がスカルプ又はジェル等の固定剤 9 を盛

50

ることによってチップ 3 上に固定されているため、取り付け及び取り外し作業が簡素化される。したがって、耐久性を高めることができると共に、何度も再利用を図ることができる。

【 0 0 2 0 】

なお、上記した実施の形態に係る付け爪 1 では、台座 4 がチップ 3 上に固定される場合について説明したが、本考案はこの形態に限定されるものではなく、台座 4 が固定剤 9 により手足の指 2 の爪上に直接固定されるように構成されていてもよい。

【 0 0 2 1 】

また、チップ 3 の材質は上記した貴金属製に限定されるものではなく、合成樹脂等他の材質により形成されていてもよい。

10

【 0 0 2 2 】

さらに、上記した台座 4 の形状は単なる例示に過ぎず、例えば、円形状、矩形状、メッシュ状等、十字状以外の形状であってもよい。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 2 3 】

【図 1】本考案の実施の形態に係る付け爪を示す平面図である。

【図 2】本考案の実施の形態に係る付け爪を示す斜視図である。

【図 3】本考案の実施の形態に係る付け爪を示す断面図である。

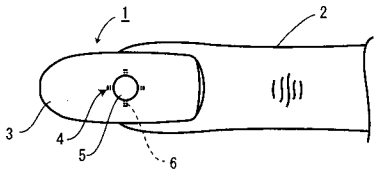
【符号の説明】

【 0 0 2 4 】

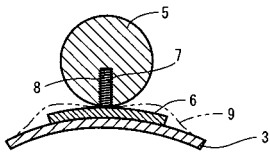
20

1	付け爪
2	指
3	チップ
4	台座
5	装飾体
6	固定部
7	軸部
8	螺子孔
9	固定剤

【 図 1 】



【 図 3 】



【 図 2 】

